

## ④自立支援の状況について（8月末までの状況）

---

### ●支援調整会議の開催状況

計4回開催（構成員：つながり・福祉事務所・市本庁＋支援計画関係先）

### ●支援計画の策定状況

計10ケース（男性4・女性6、30代3・40代1・50代4・60代1・70代1、単身2・複数8）

### ●支援開始決定の状況

計4ケース（支援開始4、支援決定待ち5、支援中断1）

## ⑤総括（状況分析と今後の課題）

---

- ・5人工の職員体制で月平均30件弱の新規相談に対応するのが限度に近いという実感
- ・相談窓口の運営と地域ネットワークや中間的就労の開拓等を同時に進めることが課題
- ・対象者の把握については生保窓口・民生委員・地域包括が重要な役割を果たす
- ・相談を支援（支援計画の策定）へ繋げていくスキームや体系づくりが今後の課題
- ・現状では困窮者の生活基盤の安定には生保との連携が不可欠となる
- ・生保に繋がった後の自立支援の連携や生保脱却後の就労定着における連携が課題
- ・就職困難者の就労先の確保だけでなく60歳以上の高齢者の就労先の確保も必要
- ・就労による解決だけでない多様な課題解決が必要となる本事業の評価手法の確立